



## 平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年4月27日

上場会社名 日本カーボン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5302 URL <http://www.carbon.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 尚史  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務統括部長 (氏名) 今井 浩二 TEL 03 (6862) 6110  
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	8,489	48.2	1,897	—	1,906	—	1,218	—
29年12月期第1四半期	5,727	2.5	△61	—	△50	—	△112	—

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 966百万円 (—%) 29年12月期第1四半期 △107百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	110.32	—
29年12月期第1四半期	△10.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第1四半期	58,716	34,192	48.5	2,577.02
29年12月期	57,656	33,906	48.9	2,553.20

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 28,458百万円 29年12月期 28,196百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	—	—	50.00	50.00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期（予想）	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	18,600	55.4	4,500	863.6	4,500	692.3	2,800	704.6	253.54
通期	41,500	48.4	11,000	328.2	11,000	267.0	7,400	149.9	670.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規一社、除外一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期1Q	11,832,504株	29年12月期	11,832,504株
② 期末自己株式数	30年12月期1Q	789,225株	29年12月期	788,847株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期1Q	11,043,444株	29年12月期1Q	11,090,441株

※ 四半期決算短信は監査法人による四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復傾向が継続したものの、輸出・生産活動の上昇には一服感がみられました。

世界経済は、米国では税制改革や財政政策を背景に製造業の業況が一段と堅調さを増しましたが、鉄鋼・アルミ産業への関税措置決定等、米国政権下の政策動向の影響が懸念されています。中国経済では、内外需要の堅調さが持続し、欧州でも、景気拡大が持続しています。

このような状況の中、当社グループの主要関連産業であります鉄鋼産業は鋼材需要が堅調に推移し、半導体関連産業は需要が好調に推移しました。当社グループを取り巻く事業環境は、回復傾向が見え、また、セグメント別事業の最適化や原価低減等の効果も持続しております。

この他、企業市民としてコンプライアンス体制の一層の強化・拡充と、最良の製品を通して広く社会に貢献すべく品質管理の徹底を推進しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高84億8千9百万円（前年同四半期比48.2%増）、営業利益18億9千7百万円（前年同四半期は営業損失6千1百万円）、経常利益19億6百万円（前年同四半期は経常損失5千万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益12億1千8百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億1千2百万円）と増収増益となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

## (炭素製品関連)

電極部門は、売価是正が進展し、主要原材料価格の上昇はあるものの事業環境は好転しております。

ファインカーボン部門は、半導体関連市場の好調さを背景に、炭素繊維および特殊炭素材料の販売は好調を維持しています。また、リチウムイオン電池負極材は、中国の環境対策により原料価格は上昇しましたが、販売は車載向けを中心に堅調さを維持しています。

この結果、売上高は78億3千5百万円（前年同四半期比48.4%増）となり、セグメント利益（営業利益）は18億6百万円（前年同四半期は営業損失1億6千4百万円）となりました。

## (炭化けい素製品関連)

炭化けい素連続繊維の製造・販売は、新設した第2工場が本格操業を開始し、順調に推移しております。

売上高は4億2千8百万円（前年同四半期比96.9%増）となり、セグメント利益（営業利益）は5千4百万円（前年同四半期は営業損失7百万円）となりました。

## (その他の事業)

その他の事業は、産業用機械の製造・販売が減少しました。

その結果、売上高は2億2千5百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業利益は3千6百万円（前年同四半期比30.7%減）と減収減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べ10億5千9百万円増加し、587億1千6百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加8億4千7百万円、棚卸資産の増加7億9千7百万円等により、前連結会計年度末に比べ15億4千8百万円増加し、353億8千9百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券の減少4億8千7百万円、有形固定資産の減価償却の進捗等による減少6千9百万円等があり、前連結会計年度末に比べ4億8千8百万円減少し、233億2千7百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ7億7千3百万円増加し、245億2千3百万円となりました。

流動負債は、仕入債務の増加9億5千6百万円等により、前連結会計年度末に比べ9億5千8百万円増加し、161億3千1百万円となりました。

固定負債は、長期繰延税金負債の減少1億1千5百万円、退職給付に係る負債の減少6千4百万円等により、前連結会計年度末に比べ1億8千5百万円減少し、83億9千1百万円となりました。

純資産は、配当金の支払5億5千4百万円、その他有価証券評価差額金の減少3億7千9百万円はありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益12億1千8百万円により、前連結会計年度末に比べ2億8千6百万円増加し、341億9千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成30年2月9日に公表いたしました第2四半期の業績予想および通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「平成30年12月期第2四半期の業績予想及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,586	12,434
受取手形及び売掛金	10,262	10,481
商品及び製品	5,508	5,599
仕掛品	3,804	4,052
原材料及び貯蔵品	1,569	2,028
繰延税金資産	642	494
その他	492	321
貸倒引当金	△25	△23
流動資産合計	33,840	35,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,572	15,537
減価償却累計額及び減損損失累計額	△9,306	△9,360
建物及び構築物(純額)	6,265	6,176
機械及び装置	41,673	41,833
減価償却累計額及び減損損失累計額	△36,576	△36,826
機械及び装置(純額)	5,097	5,007
車両運搬具及び工具器具備品	2,917	2,937
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,625	△2,653
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	291	284
土地	3,522	3,516
建設仮勘定	113	236
有形固定資産合計	15,290	15,221
無形固定資産		
	198	186
投資その他の資産		
投資有価証券	6,695	6,208
長期貸付金	9	-
繰延税金資産	146	115
その他	1,491	1,605
貸倒引当金	△16	△10
投資その他の資産合計	8,326	7,919
固定資産合計	23,815	23,327
資産合計	57,656	58,716

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,349	5,305
短期借入金	8,417	8,228
未払法人税等	358	403
賞与引当金	135	224
役員賞与引当金	69	21
その他	1,843	1,948
流動負債合計	15,173	16,131
固定負債		
長期借入金	5,977	5,962
繰延税金負債	853	738
退職給付に係る負債	1,059	994
役員退職慰労引当金	74	77
役員株式給付引当金	23	31
環境対策引当金	65	65
資産除去債務	73	73
その他	450	448
固定負債合計	8,576	8,391
負債合計	23,750	24,523
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,402	7,402
資本剰余金	7,800	7,800
利益剰余金	12,638	13,302
自己株式	△1,967	△1,970
株主資本合計	25,874	26,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,424	2,044
為替換算調整勘定	4	△22
退職給付に係る調整累計額	△106	△99
その他の包括利益累計額合計	2,322	1,922
非支配株主持分	5,709	5,734
純資産合計	33,906	34,192
負債純資産合計	57,656	58,716

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	5,727	8,489
売上原価	4,909	5,467
売上総利益	818	3,022
販売費及び一般管理費	879	1,124
営業利益又は営業損失(△)	△61	1,897
営業外収益		
受取賃貸料	5	10
為替差益	26	-
持分法による投資利益	-	17
その他	52	40
営業外収益合計	84	68
営業外費用		
支払利息	21	24
為替差損	-	8
持分法による投資損失	47	-
その他	4	26
営業外費用合計	73	59
経常利益又は経常損失(△)	△50	1,906
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△50	1,906
法人税、住民税及び事業税	38	283
法人税等調整額	14	241
法人税等合計	52	524
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△102	1,381
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	163
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△112	1,218



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△102	1,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	△380
為替換算調整勘定	△51	△42
退職給付に係る調整額	△13	7
その他の包括利益合計	△5	△415
四半期包括利益	△107	966
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△99	788
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	177

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,279	217	229	5,727	-	5,727
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	-	124	125	△125	-
計	5,280	217	353	5,852	△125	5,727
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△164	△7	53	△118	56	△61

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と同額であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,835	428	225	8,489	-	8,489
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	-	89	90	△90	-
計	7,835	428	315	8,580	△90	8,489
セグメント利益	1,806	54	36	1,897	-	1,897

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と同額であります。